社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

令和03年06月22日

計画の名称	岡崎駅の生活圏における安全・安心に住まうためのみちづくり（防災・安全）		
計画の期間	平成３１年度　～　令和０５年度　(5年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	岡崎市		
計画の目標	都市計画マスタープラン2010において、都心ゾーンの一角である岡崎駅針崎若松地区は、まちづくりの方針に地域内外を連絡する道路交通の充実が位置づけされているが、歩車分離がされておらず、通学路交通安全プログラムにおける合同点検においても課題となっている。また、岡崎駅東地区内にある南乾地踏切は踏切道改良促進法により指定された改良すべき踏切であり、交通事故の防止及び交通の円滑化を図る事による安全・安心なみちづくりが急務となっている。 -計画の目標- 本計画は、道路事業等により都市基盤の整備を進め、都市の防災及び交通機能の向上を目的とし、『岡崎駅の生活圏における安全・安心に住まうためのみちづくり』の実現を目指すものである。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,957	A	1,957	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末		R5末
1	南乾地踏切（法指定踏切）における一日当たりの踏切自動車交通遮断量58,720（台時/日）から52,613（台時/日）に減少			
	南乾地踏切（法指定踏切）の一日当たりの踏切交通遮断量を計測する。 一日当たりの踏切交通遮断量＝自動車交通量（台/日）×踏切遮断時間（時間）	58720台時/日	台時/日	52613台時/日
2	岡崎駅針崎若松地区土地区画整理事業の進捗に伴い交付対象事業地区内の公共空地率を14%から25%に向上			
	岡崎駅針崎若松地区土地区画整理事業の進捗に伴い交付対象事業地区内の公共空地率を計測する。 公共空地率＝（公共空地面積［減価用地として買収した市管理地］＋公共施設用地面積［施行前道路等］）÷地区内面積	14%	%	25%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○

案件番号：　0000592385

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	区画	－	岡崎駅東地区（（都）柱町線）	区画整理　A=40.2ha	岡崎市	■	■				743		－
		Ｒ３より踏切道改良計画事業個別補助へ移行																	
	A01-002	街路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	区画	－	岡崎駅針崎若松地区（（都）羽根若松線）	区画整理　A=5.0ha	岡崎市		■	■	■	■	650	4.43	－
	A01-003	街路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	S街路	－	（都）若松線	道路改良　Ｌ＝716m	岡崎市	■	■				564		－
		Ｒ３より踏切道改良計画事業個別補助へ移行																	
											小計						1,957		
											合計						1,957		

案件番号： 0000592385

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H31	R02	R03	R04	R05
配分額（a）	299	348	19	14	10
計画別流用増△減額（b）	0	0	0	0	39
交付額（c=a+b）	299	348	19	14	49
前年度からの繰越額（d）	0	299	312	19	14
支払済額（e）	0	335	312	19	24
翌年度繰越額（f）	299	312	19	14	39
うち未契約繰越額(g)	200	208	19	14	0
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	66.88	32.14	5.74	42.42	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	年度末成立補正予算による。	年度末成立補正予算による。		年度末成立補正予算による。	